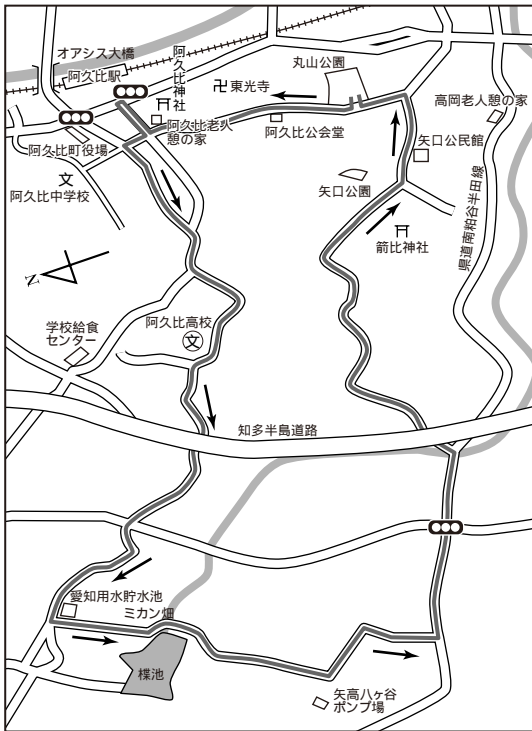
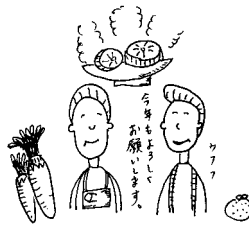


シリーズ

阿久比を歩く ⑥7



ミカン畑

第六チェックポイントの「樑池」は堤防から十メートルほど離れたところまで水が干上がり、ひび割れた地面が見えている。そこにたまたまでいる首が長く足の細い二羽の鳥は、空に飛び立つ。「鶴でしようかねえ」「違うだろう」あつさりと友人の一言を否定し、「オレンジコースマップ」で次のチェックポイントを確認する。

ふねあひマップを歩く(オレンジコース②)

あ
ぐ
い
ぶ
ら
り
旅

オレンジコース

西の空には中部国際空港を飛び立った飛行機が見える。畑では勢いよくネギが伸び、ダイコンはよきつと土の中から首をのぞかせる。「俳句を作るときに、『大根』と言えば冬の季語でしたよね。」「そうだったと思うよ。一句どう。」「ああ大根 おでんが食べたい 煮物もいじ(詠み人友人)。」「・・・」
そうこうしているうちに、町の南部地区全域と東部、英比地区の一部に水を給水する第七チェックポイント「矢高八ヶ谷ポンプ場」を通過。そこから南部工業団地の方へと下って行く。瓦工場が見える。工場敷地にたくさんの瓦が積まれている。
「空手家が頭突きで瓦を十枚も割るのはかっこいいよね。君もどう。」「痛いのでそれはいやですね。豆腐の角くらいがいいですよ。」「そうだね」。



干上がり地面が見える樑池

前田川を渡り、知多半島道路の下をくぐる。しばらく行くと四方に鈴なりのミカン畑が見える。オレンジロードを進みながら第八チェックポイント「箭比神社」を目指す。
神社に着く。延喜十二(九一二)年の創建といわれ歴史は古い。阿久比の植物の宝庫」と言われる森林の中に神社はある。参道は日中でも日が当たらないせいから、歩く石段に緑色のコケがむす。二人ともすべって何度かこけそうになる。
二〇〇七年最後の「ぶらり旅」なので、一年間旅を続けられたお礼と二〇〇八年のさらなる飛躍(勝手に二人で活躍したと思っている)を本殿の前で願い、神社を後にする。
最後のチェックポイント「矢口公民館」を通り、ゴール地点の丸山公園に戻り二〇〇七年のぶらり旅を終えた。
二〇〇八年も皆さんの前に「ぶらつと」現れるかもしれません。どこかで二人の姿を見かけたら声を掛けてください。今年も張り切ってぶらり旅に出掛けます。